

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

元気6：地産地消定着による地域産業活性化プログラム

(主担当部局：農水商工部)

- (1) 6次産業化・アグリビジネス支援事業
- (2) 地域が支持する農林水産経営育成事業
- (3) 心豊かな里づくり支援事業
- (4) 地産地消情報基盤整備事業
- (5) 地産地消暮らしの魅力発見事業
- (6) 地産地消子どもの元気づくり事業

<プログラムの事業費>

(単位:千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	131,974	108,000	101,000	341,000程度
見直し後	119,724	99,947	97,153	316,824

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算要求額

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) ワークショップから生まれる、農林水産業を起点とした新たな物・サービスの提供(件数)	目標値	10件	20件	30件
	実績値	19件	20件	
(2) 新たな産消連携実践育成組織数(累計)	目標値	-	13組織	25組織
	実績値	-	13組織	
(3) 県民と地域が協働した交流活動の取組地区数(累計)	目標値	3地区	11地区	21地区
	実績値	3地区	11地区	
(4) データベースシステムへの年間アクセス数(件数)	目標値	-	5万件	10万件
	実績値	-	5万件	
(5) 地産地消ネットワークみえ会員数(累計)	目標値	12,000人	15,000人	20,000人
	実績値	12,059人	15,000人	
(6) 地域食材を積極的に学習や体験に活用している小学校・保育園等の数(累計)	目標値	165か所	230か所	300か所
	実績値	166か所	230か所	

注：17年度実績値は11月末時点の見込み値

<進捗状況(現状と課題)>

- ・ 意欲ある事業者等への新たな物・サービス開発への支援、農山漁村地域の多面的機能を生かした里づくりの取組への支援等を行うとともに、「地産地消ネットワークみえ」や民間事業者等との協働による啓発や情報発信、県民の実践活動への支援、保育・教育現場における食育の推進を行った結果、地産地消の考え方を踏まえた物やサービス提供の活性化が図られ、また、「地産地消ネットワークみえ」の会員活動の活発化、「みえ地物一番の日」キャンペーン協賛事業者の増加など、地産地消運動に対する県

民の認識も高まりつつあります。(県内産品を積極的に購入する人の割合：H15年度 12% H16年度 35%)

- ・ 地産地消運動が民間活動としてさらに定着していくためには、供給側の事業者と県民(消費者)の間での双方向の情報受発信を促進するとともに、供給側の取組を活性化する取組と県民の認識を高める取組とを連動させ、両者の相互理解や連携を進めていく必要があります。

<平成 18 年度の取組方向>

- ・ 県内農林水産業のもつ魅力を十分生かした農林水産物などを県民に届けるための供給側の取組の活性化と県民の地産地消運動に対する理解を深めるため、新たな物やサービスの提供を促進するマッチングや技術支援、農林水産業の持つ多面的機能を意識した新たな産消連携のあり方の検討や、心豊かな里づくりを行う地域の活動への支援、「地産地消ネットワークみえ」との協働による普及啓発、「みえ地物一番の日」キャンペーン等の取組を一層強化するとともに、地域の考え方を大切にし、それぞれの取組を連動させることにより、効果的な事業展開を図ります。

<主な予算要求事業>

6次産業化・アグリビジネス支援事業【18年度事業費 17,497千円】

意欲的な農林水産事業者、食品関連事業者等を対象に、新商品創出に向けた異業種交流、マッチング、研究支援等を行い、地産地消の考えをふまえた物・サービスが提供される機会を拡大します。

地域が支持する農林水産経営育成事業【18年度事業費 8,075千円】

農業が発揮する多面的機能の価値について、生産者側・消費者側双方が理解したうえで成り立つ産消連携のモデル的な取組を支援します。

心豊かな里づくり支援事業【18年度事業費 5,850千円】

県内農山漁村において、特色ある資源を活用した農林漁業体験や宿泊体験などの機会を県民ニーズに応じて提供できる地域(里)づくりを推進し、都市との交流による地域の活性化と県民が期待する魅力ある里の実現を推進します。

地産地消情報基盤整備事業【18年度事業費 3,800千円】

県内の地産地消に関する情報データベースシステムを構築し、県民が主役となった情報の受発信ができる環境を整備します。

地産地消暮らしの魅力発見事業【18年度事業費 44,183千円】

「地産地消運動」を生活者の視点に立って進めるため、県民が広く参加する推進母体「地産地消ネットワークみえ」と県・市町村が協働を図りつつ、フォーラムの開催や情報発信を行うとともに「みえ地物一番の日」を設定し、三重県産の食材を消費する多様な仕組みや機会をつくるよう支援します。

地産地消子どもの元気づくり事業【18年度事業費 17,748千円】

子ども達の地域への関心や、望ましい食生活への理解を深めるため、市町等を支援し、給食への地域食材の導入や体験学習等の食農教育を推進します。